

解答

一

問一 A オ B イ C ウ D ア
問二 エ
問三 1 カ 2 ウ 3 オ
問四 ウ
問五 イ
問六 オ

問七 （本文中に）「十分ほどでコジモは本を読み終え、荒ら草ジャンに貸してやった」（とあるので、もう間もなく読み終わる（ということを書っている）。

問八 イ・オ

問九 二人とも人との間に距離を置いており、退屈のあまり書物を求めている点。

問十 荒ら草ジャンは、書物を通じて世の中のことをよく知るようになり、自分がこれまで繰り返してきた過ちを認識して心を入れかえていく（と考えられる）。

二

問一 A オ B ウ C イ D ア E エ
問二 a エ b イ c オ
問三 こいつは俺と同じだ
問四 ウ
問五 カ
問六 イ

問七 I 相手の個別的な人格に目を向けないこと。
II 相手との関係が深まらず、さびしい思いをすること。

問八 I 自分を百パーセント理解してもらうことをあきらめて、相手との関係作りをやめてしまうこと。
II 自分のことを理解してもらえない可能性を信じて、相手との関係を少しずつ築いていこうとすること。

問九 絶対受容（絶対受容性）

問十 相手に絶対受容性を求めるのではなく、相手の個別的な人格に向き合い関係を深め信頼感を作ろうとする態度。

三

① 収録 ② 手中 ③ 不測 ④ 快活 ⑤ 旗手 ⑥ 浴〔びる〕 ⑦ 誤解 ⑧ 絹糸
⑨ 署名 ⑩ 長針